

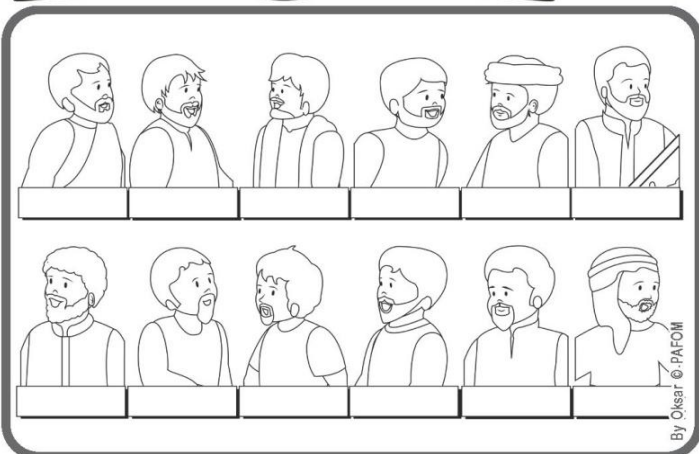


イエスさまのように、おしみなくあいしあいしましょう。

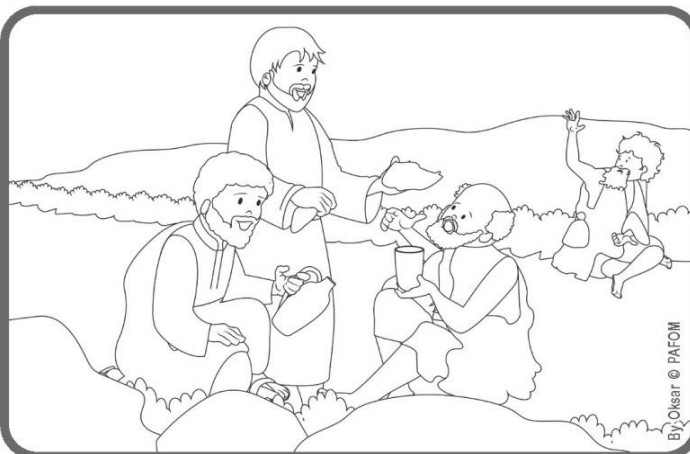
いって「てんのくにはちかづいた。」とのべつたえなさい。
ただでうけたのだから ただであたえなさい。
(マタイ 10・7-8)



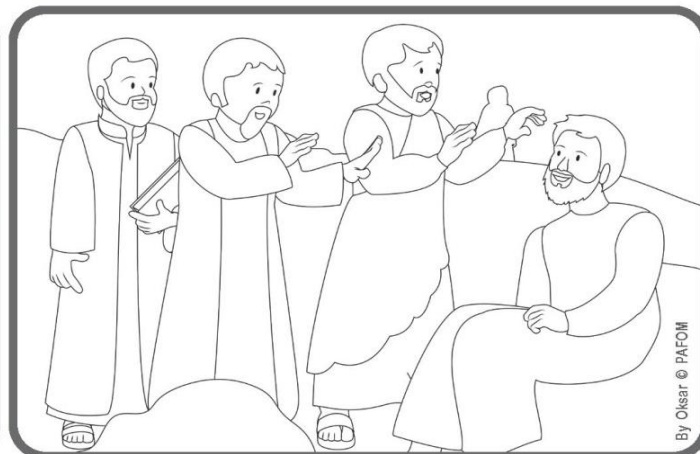
フォコラーレ
focolare.org/japan



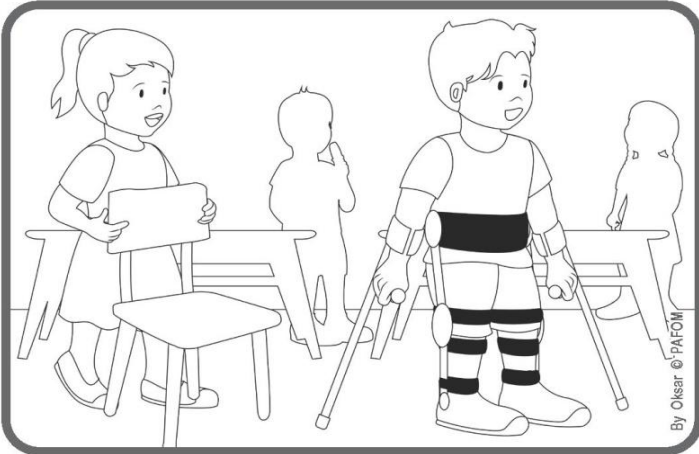
じゆうにしとのことをおぼえていますか。かれらはイエスさまにえらばれ、イエスさまにしたがい、イエスさまがはなし、ひとびとをいやし、たすけるのをみました。イエスさまはたくさんのおしえ、それをひとびとにつたえてほしいとねがいました。



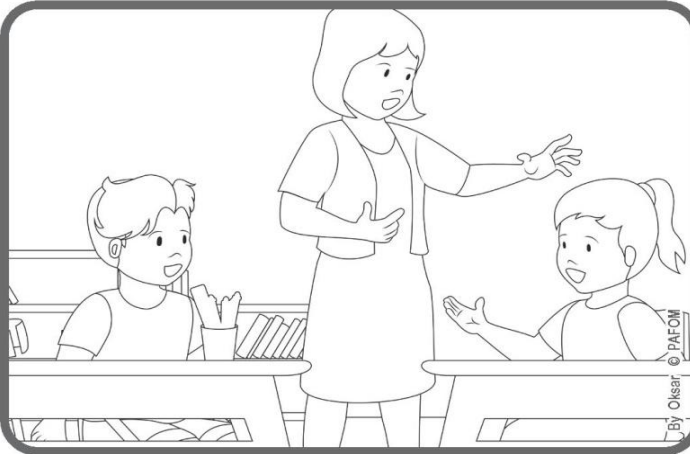
イエスさまは、かれらのじゅんぴができたとかんがえたとき、かれらをまちやとしにつかわし、すべてのひとにじぶんのおしえをつたえるようにいいました。とくに、いちばんひつようとしているひとたちをさがすようにたのみました。



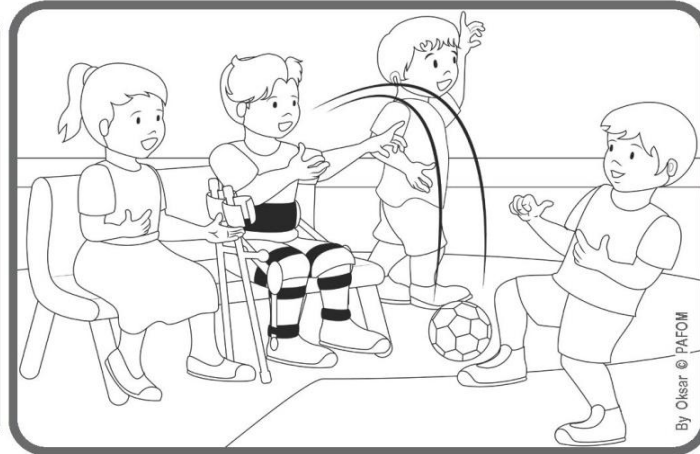
そして、イエスさまはじぶんのよういきることを おもいださせてくださいます。おしえたり、はなしをきいたり、くるしんでいるひとたちにあいのおこないをしたりします。「あなたがたはただでうけたのだから、ただであたえなさい」といわれました。



フラヴィアのクラスに、ジョアンというあたらしいおとこのこがてんこうしてきました。あしにしょうがいがあり、あるくことがむずかしいです。「わたしはじょうずにあるけて、ほんとうによかった！」とフラヴィアはおもいました。でも、はじめのころは、ジョアンからきりをおいていました。



フラヴィアは、ジョアンをどうやってたすけたらよいかかわからず、すこしふあんでした。でも、イエスさまはびょうきのひともおしえていることをおもいだしました。そこで、ゆうきをだしてせんせいことなりにすわっていいかとたずねました。



せんせいは、「ジョアンをたすけてあげられるといいね！」とこたえました。フラヴィアは、こころのなかでイエスさまのこえをききながら、すこしずつジョアンをたすけるほうほうをみつけていきました。いまでは、フラヴィアのたすけで、ジョアンもやすみじかんにみんなといっしょにあそべるようになりました。ふたりはしあわせです！わたしたちはともだちです！いっしょにあそぶのは、とてもたのしいです。